



いの町 紙の博物館

- ▶開館時間：9：00～17：00
- ▶休館日：毎週月曜日(ただし、祝日は開館し翌日休館)
- ▶電話番号：893-0886
- ▶入館料：大人 500円 / 小中高生 100円
65歳以上 250円(要年齢証明)
- *販売コーナーは、入場無料です。
- *購入日から1年間、何度でも入場できるお得な年間観覧券(1,500円)販売中!



◆吉井源太没後110年 記念企画展「紙の交流・源太と日本の和紙産地ー明治から始まった絆を、新たに結ぶー」 10月6日(土)～11月11日(日)

高知の紙業発展の礎を築いた製紙家・吉井源太の軌跡を辿り、日本各地紙産地との交流の記録や産地の様子を紹介します。
 <基調講演・紙のまち交流フォーラム> 10月20日(土) 13：30～ (いの町役場本庁舎1階いのホール)
 詳細は左のページをご覧ください。

◆斉藤卓治・健輔 紙の昆虫たち展2018 10月6日(土)～21日(日)

愉快な紙の昆虫たちが6年ぶりにやってくる! 斉藤卓治さん・健輔さんが1枚の紙からフリーハンドで生み出すユーモラスな紙の昆虫たち約150点を展示します。

ワークショップを開催! 「紙のテントウムシをつくろう」

- ▶日時 10月6日(土)・7日(日)・8日(月・祝)・20日(土) 14：00～16：00
21日(日) 10：00～12：00

▶参加費 750円 (入館料別途要)

▶対象 小学生以上 (低学年の場合は保護者の同伴が必要です)



◆秋の山野草展 10月12日(金)～14日(日)

山野草保存会会員が育てた秋の山野草など約300点を展示します。

◆土佐和紙の糸と布 10月23日(火)～28日(日)

土佐和紙による紙糸づくりワークショップを開催します。詳しくは紙の博物館ホームページをご覧ください。

土佐紙業界の恩人・吉井源太を知る



吉井源太は幕末に伊野で生まれ、明治の終わりに亡くなるまで、製紙家として活躍し、日本紙業界の発展に全生涯を捧げ様々な功績を残しています。

ここでは、10月6日から始まる企画展開催を記念して、彼の功績を紹介します。

源太さん5つの大仕事!

その⑤ 博覧会へ紙を出品したり、全国へ技術などを教えに行きました

源太は国内外の博覧会へ紙を出品してたびたび高い評価をもらいました。また、全国の紙産地に依頼されて、紙すきの方法や道具、原料などの新技術を教えに行ったり、伊野で受け入れられました。こうして交流を結んだ紙産地は30の府県に及びました。今でも、高知県から教えてもらったという歴史を受け継いでいる産地があります。



ギャラリー・コパ

▶電話番号：893-1200

▶開館時間：9：00～17：00

◇吉村祝恵 油彩・水彩・パステル画展 10月3日(水)～10月8日(月) 最終日は16時まで

風景・静物など油彩・水彩・パステルで描いた作品約30点を展示します。

◇なでしこ和み展 10月11日(木)～10月14日(日) 最終日は16時まで

古布で作った小物を展示します。

◇数え年90歳手づくり展 10月19日(金)～10月21日(日) 最終日は16時まで

90歳になった佐川町 椋皮照弘さんの手づくり展で、苔玉・盆栽・寄せ植えなど約120点を展示します。

◇PPバンドで作るプラカゴ展 10月19日(金)～10月21日(日) 最終日は16時まで

エコプラバッグを展示します。バッグ作り体験もあります。

◇秋の山野草展 10月20日(土)～10月31日(水) 最終日は15時まで

秋の山野草、紅葉実物、野生蘭、シダ、カンアオイなど合計150点を展示します。

◇2018年モロッコ中近東ラグ・カーペット展 10月31日(水)～11月4日(日) 最終日は15時まで

モロッコ、中近東の手織りラグ、カーペットを展示します。